

大講座基幹若手プロジェクト研究

口腔の健康をはじめとした生活スタイルの改善によって循環器疾患を予防できるか

本研究の目的: 口腔衛生を主体として生活スタイルの改善までを含む、広義での歯科からの介入が、全身疾患の予防に効果的かを調査すること

研究の概要

歯科医療従事者による講演や健康診断
広義の「歯科的介入」

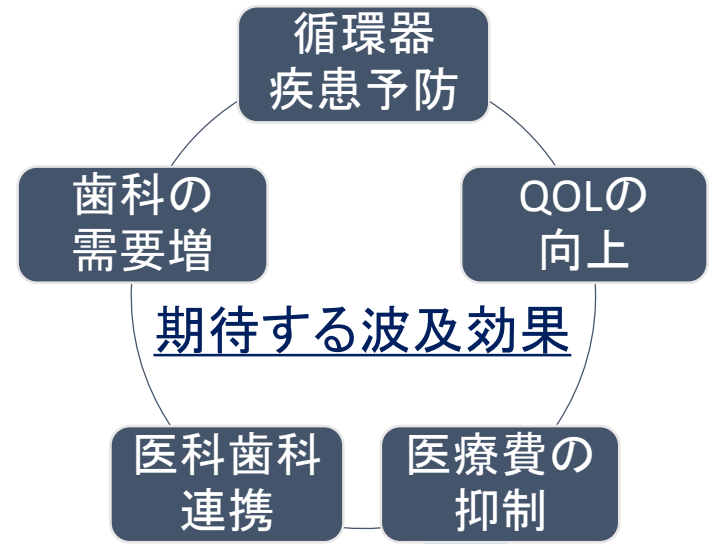
生活スタイルの改善を目指す
循環器疾患発症を予防できるか評価

研究計画

歯科医師・歯科衛生士による口腔清掃
や生活スタイル改善に対する指導

実際に生活習慣の改善が行われたかを
経時的に確認

長期的に、循環器疾患など全身疾患
の発症が抑制されたかを評価



主要評価項目

講演会・健康状態測定会参加から3年の

循環器疾患の発症率

[ACS・致命的な心疾患・PAD・脳梗塞]

“歯周病からはじめる、生活習慣病予防モデル地区の構築！”

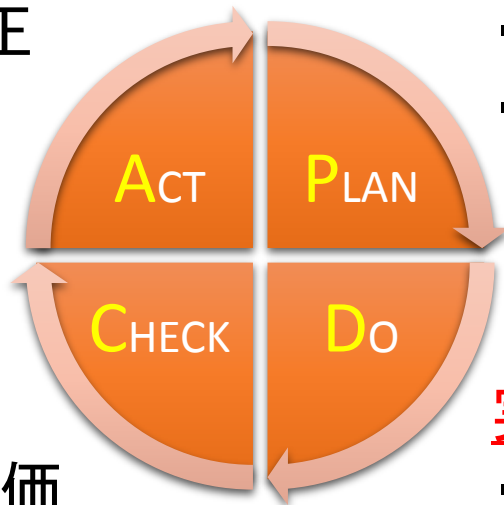
PDCA cycle

改善

- ・参加者数の調整
- ・半年ごと計画を調整
- ・評価を踏まえた修正

評価

- ・計画遂行の自己評価
- ・外部委員による確認
- ・学会発表による質疑



計画

- ・研究計画の立案
- ・講座横断での討議
- ・研究開始時期の決定
- ・UMIN登録

実行

- ・研究計画の遂行
- ・定期的な講習会開催
- ・学会大会での発表
- ・学術誌での論文公表